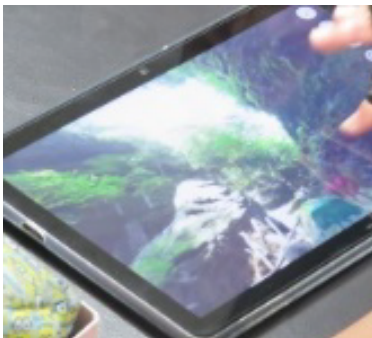


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

自ら進んで実験・観察を行うための ICT 活用
「デジタル教材『バーチャル体験学習』」

| | | |
|-----------------------------------|---------------------------|---|
| 子どもについて | 所属・学年 | 特別支援学校・中学部 1 年 |
| | 障がい名等 | 視覚障がい |
| | 子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等) | ・ 見え方に課題があり、文字や形をとらえたり、板書を視写したりする際に間違える場合がある。 |
| 授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面) | 教科名等 | 理科 |
| | 単元(題材)名 | 単元名「大地の変化」 |
| | 単元(題材)の概要 | ・ 身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震等について、大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 |
| 教材・教具 支援機器について | 教材・教具 支援機器 |  <p>「バーチャル体験学習」 https://virtualexperiencelearning.net/</p> |
| | ねらい・工夫点 | <p>〈ねらい〉</p> <p>○ 自ら進んで実験・観察を行うことができるようにする。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル教材（バーチャル体験学習）を使用し、川の流れる速さや岩の大きさなどを手元のタブレット端末を自由に操作しながら観察することができるようにした。 ・ 自ら操作して見やすい大きさや距離などに調整し、主体的に情報を得ることができるようにした。 |
| | 材料・作成方法等 | ネット接続できるタブレット端末（ブラウザを使用） |
| 子どもの変容や評価 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 離れた場所のものが見えにくい生徒が、タブレット使用により、自分の見やすい距離で観察することができ、必要な情報を見つけることができた。 ・ 観察を通して、気づいたことを話し合ったり、話し合いから得られた情報について自分で確認したりすることができた。 |